

# 社会福祉法人ひだまり

## 令和4年度（2022年度）事業報告総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業経営と多様なニーズへの対応の間でバランスをとることが難しい場面が多かったため、原点に立ち返り、医療・介護従事者が一丸となってサービスの維持・向上に取り組む年度となりました。

法人全体では、組織拡大に伴う新たな組織体制の構築とガバナンスの強化、多様な人財の確保と育成、働き方改革の推進、法人内の連携体制の構築、ブランド戦略の強化、地域福祉・包括支援への貢献の拡大などを目指し、様々な取り組みを行いました。

各事業所においては、質の高いサービスと安定した経営の実現、多様化する社会に対応した総合的な支援体制の構築に努めるとともに、職員の役割や責任の明確化、業務改善、コスト削減にも注力しました。特に、開設2年目となった近江事業所では、看護小規模多機能型居宅介護事業所と訪問看護ステーションの連携により、地域包括ケアシステムの中核となるよう努めました。また、障がい児者部門においては、研修会やカンファレンスに積極的に参加し、全支援員のレベルアップと利用者に寄り添った支援の展開を図り、一定程度の実績を残すことができました。

今後も、社会環境の変化に柔軟な対応力が不可欠であると考え、安定的かつ持続的な企業経営の推進を目指していきます。

社会福祉法人ひだまり  
理事長 永田 かおり